

夢・いっぱい

第3号

令和5年5月25日



2023年度の経営方針

今日の学び合いを楽しみ、明日が待ち遠しい学校づくり
～ 開かれた学校において、「愛宕の子」として地域と共に育てる ～

「連携する」とは

校長 宮崎 純一

本校の学校教育目標「確かな学力と豊かな人間性を身につけ、力強く生き抜くことができる心身ともにたくましい愛宕の子どもを育てる」の実現に向けて、家庭や地域の方のご理解とご協力をいただきながら、連携した教育の推進が重要です。「連携する」とは、辞書には「同じ目的を持つ者が互いに連絡をとり、協力し合って物事を行うこと。」とあります。

子どもたちの育ちに関わる学校・家庭・地域の大人は、誰もが子どもたちの健やかな育ちを願っていますが、それぞれの思いや考え方などは、概ね共通するところもありますが、そうではないところもあります。また、子どもの様子や情報についても、学校でしか分からないこと、逆に家庭や地域でなければ分からないことがあります。だからこそ、「互いに連絡」をとり合い、共有した上で、子どもたちに「今、どうするべきか」を一緒に考えることが大切です。時には、説明や情報が不足し、お互いの思いが伝わっていなかったり、お互いの思いを理解し合えなかったりすることもあるかもしれません。このような時こそ、お互いを批判するのではなく、まずは連絡をとり「相談」をしてください。学校から相談させていただくこともあります。子どもたちの健やかな育ちのためという「同じ目的」があれば、話し合いにより、子どもたちにとってより効果的な解決策などを見つけ出すことができるのではないのでしょうか。内容によっては、子どもたちに対して、学校、家庭、地域が同じように関わる必要があることもあります。また、学校、家庭、地域が役割分担をして違う役割を果たすことで子どもたちにとって効果的なこともあります。



子どもたちは、将来、自立して社会を生き抜いていくこととなります。そのために必要な力や人間性をいつ、どのように身につけさせるのか、また自ら身につけることができるように支えるか、学校、家庭、地域が共に悩み、考え、連携しながら実践していけたらと考えています。今後とも、ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

「達成感」につながる言葉を

5月27日(土)の春季運動会に向けて、子どもたち一人一人が頑張っています。運動会は重要な教育活動の一つであり、行事を通して子どもたちに多くのことを学んでほしいと考えています。個人種目や団体種目では勝敗を競うため、必ず勝敗がつきます。勝つことをめざして一生懸命に頑張ることは大切なことです。勝つことをめざして、仲間との協力も生まれます。しかし、子どもたちに大切にしてほしいのは、勝ち負けによる判断ではなく、勝っても負けても最後まで全力で頑張ることです。また、一緒に頑張った仲間やお互いに頑張った相手に対して、どのような態度や姿がふさわしいかも学んでほしいと思います。

頑張ったことを認められると子どもは「達成感」を感じ、「自信」につながります。その「自信」は次への「意欲」につながります。子どもたちが成長する大切な機会としてとらえ、ご家庭でも運動会を終えて帰ってきた子どもたちに、最後まで頑張ることの素晴らしさを価値づけ、「達成感」につながる言葉をかけてあげてください。よろしくお願いいたします。